

躍進の年に

小野町議会議長 村上 昭正



明けましておめでとうございませす。町民の皆さま方におかれましては、ご家族共々輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

合わせて、議会活動に対しまして、常日頃ご指導とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、1月に議会議員の改選があり、新たな議会構成による4年任期のスタートの年でもありました。改めて一年を振り返って見ますと、まずオリンピックの年に行われる町民大運動会があり、大勢の町民の皆さまにご参加をいただき盛会に開催できましたこと、御礼と感謝を申し上げる次第であります。人と人とのつながり、コミュニティが希薄になってきたといわれる現在におい

て、この大運動会が持つ意味合いは必要かつ重要なことと考えております。

東日本大震災から、早いもので6年目を迎えるようとしております。福島に住むわれわれにとつて忘れてはならない原発事故であり、将来にわたり語り継ぎ、それによって得た経験を生かしていかなければならないことは言うまでもありません。そのような中、避難を余儀なくされ復興道半ばである双葉郡広野町、川内村それぞれの町村と包括連携協定を締結し、お互いに地元の良き風土、風習を生かしながらさまざまな分野において、交流や親睦を深め、お互いに地域力を高めていこうという取り組みであります。議会といたしましても、今まで以上に広野町、川内村両議会をはじめ、近隣市町村議会との連携を図りながら、町政進展のための活動を進めてまいりたいと考えております。

沖縄県石垣市の八重山農林高校と小野高校との連携縮結も行われました。これはそれぞれのまったく違う気候風土で育ったそれぞれの生徒が交流することによって、相互の理解と親睦を深め、豊かな人間性を伸長し、リーダーとしての資質の向上を図ることが第一の目的であります

が、今後においては、石垣市と小野町との交流事業へも発展できればと考えているところであります。ぜひ八重山農林高校の生徒たちにも小野町に来ていただくことを切望するものであります。

議会改革を継続的に進めているところではありますが、議会の果たす役割、責任を再認識し、さらなる改善を図ることが重要であることは、言うまでもありません。そのような考えのもと、これからの議会のあり方として、議会の統一した考え方を議論し、政策提言をさまざまな角度から進めて行くことを申し合わせているところであります。

まずは、将来を担う子どもたちにもスポーツをあてて、少子化時代の大切な子どもたちの将来のため、子育て支援策、教育環境整備のあり方などについて、詳細な調査検討を行い、議会としての提言を取りまとめたいと考えてあります。

地方創生の時代と言われて数年が過ぎてきたところでありますが、現在それぞれの自治体が独自の考えのもと、観光人口の獲得、移住者の受け入れ、企業誘致策など、過剰な自治体間競争がなされている気がいたします。

は大事なことであります。過度な財政負担の競争より、広範囲な自治体間連携が必要ではないかと考えます。そのような観点から、われわれ議会といたしましても、町民の皆さまの知恵やお考えをおかりいたしまして、議員一同、将来にわたり住み続けることのできるまちづくり、躍進するまちづくりに努力してまいり所存でありますので、今後ともご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、町民の皆さまが今年一年、素晴らしい年となりますようご祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

謹賀新年

小野町議会

議長 村上 昭正
副議長 吉田 康市
議員 佐藤 登
久野 峻
遠藤 英信
水野 正廣
龍田 良作
田村 弘文
宗像 芳男
竹川 里志
会田 明生
渡邊 直忠

